



はぎわら まさお  
穂原 政夫 議員  
(政友みらい)



「子どもまんなか社会」実現に向けての  
佐野市の取り組みについて

Q 令和6年4月から7月のいじめ、不登校の状況について伺いたい。

A 教育長

令和6年4月から7月末までの本市のいじめ、長期欠席の状況等調査の結果では、いじめの認知件数は合計47件となっており、前年の同時期と比較して19件増加しています。

内容としては、冷やかしの悪口が約7割で一番多い状況です。また、不登校については、30日以上欠席している児童生徒数は、7月末で合計150人となっており、前年の同時期と比較して16人増加しています。

不登校の児童生徒やその保護者が、不登校の要因として学校に相談した内容としては、不安や抑鬱、学校生活にやる気が出ない、生活リズムの不調等の相談が多い状況となっています。

その他の質問

☆田中正造翁について  
☆佐野市在住の外国人について



ながはま なるひと  
長浜 成仁 議員  
(政友みらい)



国際防災拠点さの整備方針の  
今後について

Q 国際防災拠点を整備するためにどの程度の予算が必要と見込んでいるか伺いたい。

A 総合政策部長

本事業については、ポテンシャル調査やニーズ調査を実施し、被災地の復旧復興に必要な業務、取り組むべき事業を調査、整理してまいりますので、現時点においては事業費の算定をしていません。

なお、本事業はハード整備を中心に据えた取り組みではなく、官民連携によるソフト事業が主になる取り組みであり、国や県、関係団体との連携のもと、平時から必要とされる機材、物資等を支援物資として有効活用する仕組みを考えているものであり、膨大な事業費にはならないものと考えています。

その他の質問

☆外国語教育の充実について  
☆ペット同行避難所の導入について



さわだ ひろゆき  
澤田 裕之 議員  
(大樹会)



女性支援事業について

Q 女性支援事業として、女性自立支援施設などがある。しかし、本人の立場に寄り添って相談に応じ、様々な機関と連携、協力して、一人一人のニーズに応じた包括的な支援を実施することが重要である。今後の女性自立事業の取り組みについて伺いたい。

A 子ども福祉部長

今後の取り組みとしては、相談者にとって最も身近な相談窓口としてさらに広く周知するとともに、女性相談支援員のさらなる資質の向上に努めていきます。

また、児童福祉、母子保健、障がい福祉、高齢者福祉、生活困窮者支援等の様々な関係機関との連携を強化し、個々に応じた適切な支援につなげるなど、相談者が安心かつ自立して生活を送ることができるよう、今後より一層適切な相談支援に努めていきます。

その他の質問

☆市民の健康寿命の延伸について  
☆水道事業について

